

平成最後の入学式挙行 ようこそ立命館へ

4月2日、2019年度立命館大学・大学院入学式がみやこめっせ(京都市左京区)にて挙行された。今年度は、世界20の国と地域からの649人の国際学生を含む、学部生・大学院生合計で8826人の新入生を迎えた。

今年から就任した仲谷善雄学長は「大学は社会の中にあり、社会が抱える課題の解決へ積極的に取り組むべきだ。皆さんも社会に目を向けて自分なりの社会貢献の仕方を考えてみてほしい」と祝辞を述べた。

式はいくつかの学部・研究科ごとに4部構成で行われ、第1部では今年度から大阪いばらきキャンパスに開設された、グローバル教養学部の新入生が「自分自身の文化を大切にしながら、相手の文化を受け入れること」とも重要だ。これをグローバル教養学部で身に付けたい」と学生生活の目標を英語で述べた。

韓国から来たグローバル教養学部の女子留学生は「学部の1期生なので、何か分からないことがあったときに頼れる先輩がいなくて



胴上げされる後藤監督

5月26日に関西学生野球連盟の春季リーグ最終節、伝統の「立同戦」の2回戦がわかさスタジアム京都(京都市右京区)で行われた。この試合に勝利した本学硬式野球部は2季ぶり、39回目(旧リーグ含む)の優勝を果たし、6月10日から東京都で行われる全日本大学野球選手権への出場権を獲得した。

1回戦を6-4で勝利して臨んだ2回戦は延長12回、4時間に迫る熱戦だった。3対3で迎えた9回裏、二死1、3塁と一打サヨナラの場面で打席には4番で主将の大本拓海(文4)が立った。同志社大4番手の高橋恭平の6球目を打つも、打球は右翼手のグラブに収まり、試合は延長戦へ突入する。

延長12回裏、一死満塁の場面で打席に送られた代打大杉直輝(スポ健3)はカウント3-1から高橋の誘

い球を冷静に見逃して押し出し。劇的なサヨナラ勝ちで優勝を掴み取った。

後藤昇監督は優勝について「今年のチームは4回生を中心にとまり、ここ

立同戦制しリーグV

関西学生野球 春季リーグ



発行所 立命館大学新聞社
 発行人 小坂橋 岳郎
 京都市北区等持院北町 56-1
 立命館大学学生会館 BOX316
 TEL | 075-465-8253 (内線 2610)
 BKC支局 滋賀県草津市野路1-1-1
 セントラルアーク4F
 OIC支局 大阪府茨木市岩倉町2-150
 A棟3F Student Lounge 内
 www.ritsumeikanunivpress.com

立命館大学新聞社
 RITSUMEIKAN UNIV PRESS

www.ritsumeikanunivpress.com

立命館大学新聞社 検索

TEL 075-465-8253
 MAIL info@ritsumeikanunivpress.com
 Twitter @Rits_Press
 Facebook www.facebook.com/ritspress/



祝辞を述べる仲谷善雄学長

「私たちが初めての学生生活のようにしたい」と抱負を語った。(石井)

三菱地所とパートナーシップ協定締結

ロボットがキャンパスに



人間とロボットが共に働いて、より効率的な施設管理を実現するための実証実験や情報発信を行うことを目的とした「戦略的DXパートナーシップ協定」を学校法人立命館と三菱地所が締結した。

本構想では、清掃、運搬、警備などの機能を備えたロボット「marble」をキャンパスに導入し、清掃ロボット「marble」、警備ロボット「[EBBOT]」、搬入が実現すれば、人手不足の解消など、大きなキャン

人間とロボットが共に働いて、より効率的な施設管理を実現するための実証実験や情報発信を行うことを目的とした「戦略的DXパートナーシップ協定」を学校法人立命館と三菱地所が締結した。

本構想では、清掃、運搬、警備などの機能を備えたロボット「marble」をキャンパスに導入し、清掃ロボット「marble」、警備ロボット「[EBBOT]」、搬入が実現すれば、人手不足の解消など、大きなキャン

5月号

本号の紙面

立同戦制しリーグV	1面
いばらき×立命館DAY	2面
「令和」識者にきく	3面
「エキスポート」BKCで	4面

令和初の葵祭

5月15日、令和初となる「葵祭」が京都市内で行われた。葵祭は、祇園祭・時代祭と並び京都三大祭の1つ。京都御所から下鴨神社、上賀茂神社へ5000人を超える王朝行列が練り歩いた。歴史は古く、古墳時代から1400年以上続く。行列は新緑の都大路をゆつくりと進み、大勢の観光客らを魅了した。

腰輿(およよ)と呼ばれる輿に乗る齋王代 現代の葵祭の主役とされる

「普通」は内部進学や一般入試で入学した人も、AO入試やスポーツ推薦などで入学した人も在籍している。どの学生も何かしらの分野に長けている。「普通の学生」などどこにもいない。まさに大学が謳うように「多様性」に満ちているのだ。「内部生が「推薦が」などと文句をつける前に他者を認めよう。多様な個性に触れよう。そうして自身の見聞を広げ、有意義な大学生活を送ってほしい。(小坂橋)

海神

最近、我が家に新しい家族が増えた。オスの雑種犬で名前をカリメロという。どうやらギリシャ語で「美しい脚」を意味するらしい。なるほど由来は彼の欠けた右後ろ脚のことか▼保護した時にはすでに膝から先が欠損していたという。骨髄炎を起こしており、壊死を避けるべく根元まで切断した。それでも他の子犬と同様、元気でよく跳ね回る姿は健気で愛くるしい▼気にしているのはむしろ飼いや通行人の方か。周囲からは不憫そうな目をされ、同情される。彼は気にしていないのに。「普通ではない」からだろうか▼普通とはなんなのだろう。確かに人間から見れば3本脚の犬は普通ではない。しかし彼からしたら、物心ついた頃から3本脚が普通なのだ。「普通」とは結局、それぞれの定規に合わせた基準でしかない▼読者諸君はどうか。普通という言葉を使っているのではないか。本学には3万2600人も学生がいる。他の人を「普通」か「普通じゃない」かの眼鏡で括ってしまうのはもったいない▼本学には内部進学や一般入試で入学した人も、AO入試やスポーツ推薦などで入学した人も在籍している。どの学生も何かしらの分野に長けている。「普通の学生」などどこにもいない。まさに大学が謳うように「多様性」に満ちているのだ。「内部生が「推薦が」などと文句をつける前に他者を認めよう。多様な個性に触れよう。そうして自身の見聞を広げ、有意義な大学生活を送ってほしい。(小坂橋)

Ritsumeikan University Festival

立命館大学学園祭 2019

開催日程決定

皆様のご来場をお待ちしています

OSAKA 大阪いばらき キャンパス 10.27 SUN	KYOTO 衣笠 キャンパス 11.17 SUN	SHIGA びわこ・くさつ キャンパス 12.1 SUN
--	--------------------------------------	--

Twitter @rits_gakuyukai www.ritsumeikanunivpress.com

2015年に国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」は、第17年に学生主導のSDGsの祭典「Sustainable Week」が初めて開催された。SDGsの達成期限は2030年。奇しくも、立命館学園の中長期計画「R2030」も同じ2030年までの計画だ。今後の10年間は世界的な転換点となる。SDGs達成に向けた取り組みは、経済成長だけを目標とするのではなく、持続可能な社会を形作る世界的な機運だ。東京五輪や大阪万博も控える日本は、この機運を先導する存在となるべきである。

本学においては、2017年に学生主導のSDGsの祭典「Sustainable Week」が初めて開催された。以来、急速に認知が進み、その翌年には同イベントは倍以上の規模に成長した。学生の活動を30年までの計画だ。今後の10年間は世界的な転換点となる。SDGs達成に向けた取り組みは、経済成長だけを目標とするのではなく、持続可能な社会を形作る世界的な機運だ。東京五輪や大阪万博も控える日本は、この機運を先導する存在となるべきである。

社説 SDGs 誰も取り残さない為に

「誰一人取り残さない」SDGsの理念に則り、主導者にはすべての学生を巻き込んでほしい。SDGsの理念に則り、主導者にはすべての学生を巻き込んでほしい。SDGsの理念に則り、主導者にはすべての学生を巻き込んでほしい。

JR西日本と連携 協力の基盤を整備

学校法人立命館は西日本旅客鉄道株式会社(JR西日本)との連携・協力に関する協定が、3月25日に京都鉄道博物館(京都市下京区)で締結された。立命館が鉄道事業者と連携協定を結ぶのはこれで3件目となる。協定の内容には①地域連



京都鉄道博物館のSL前でされた締結式(大学提供) 森島理事長(左)と三輪正稔JR西日本京都支社長(右)

協定の内容には①地域連携、具体的な連携内容については今後、検討していくことになる。大阪いばらきキャンパス(OIC)は地域・社会連携を教学コンセプトの1つに位置づけ、JR沿線に位置している。今回の協定はJR西日本の掲げる「沿線地域の活性化」と理念が合致したことで実現した。協議の中で、大学の教育活動の活性化、地域の活性化および将来必要とされる人材の育成等の取り組みを進めることを確認し、連携協定に発展した。

本学OIC地域連携課の植松幹雄課長は「この連携協定はあくまでも両者の協力関係を強化する第一歩だ。今後さらなる連携の具体化を図り、学生にとっても有意義な取り組みにつながるようJR西日本と共に検討していきたい」と今後の展望を得た人物であることが

望も含めて語った。OICではこれまで、地域住民向けのイベントやホッケースクールなどの地域の子どもの取り組みが行われてきた。今後JR西日本が参画することで、告知などのさまざまな協力が期待できる。(小板橋)

いばらき×立命館DAY 2019 開催

5月19日、大阪いばらきキャンパス(OIC)で本学と茨木市が共催する地域交流イベント「いばらき×立命館DAY 2019」が開催された。家族連れや学生が楽しめるイベントは、今年も学生だけでなく家族連れや地域住民らで賑わった。

イベントでは、地元企業や茨木市による体験イベントやブース展示のほか、本学の団体によるステージパフォーマンスや体験企画が行われた。家族連れの来場者を想定した、火起こし教室や本の読み聞かせ、そらばい教室など子ども向けの企画も多く見られた。

OICを拠点とする学部の新入生が運営する緑日企画や模擬店も出展された。模擬店の店長を務めた野村佳歩さん(心理1)は「クラスをまとめるのは大変だったが、お店がなんとか形になって安心した。イベントを通して仲良くなれて嬉しかった」と笑顔で語った。



子ども向けの企画が多く見られた (水谷)

学生自治を担う 自治委員とは

学友会は立命館大学の「全構成員自治」の理念のもと、学生の代表として学生自治を担う。学友会の活動は学生生活や学園全体の運営に大きな影響を与える。中でも各学部の代表である自治委員は、学部生の意見を背負う重要な立場だ。今年開設されたグローバル教養学部を除く15の学部に自治委員の体制が導入された。自治委員の役割は大きく2つある。1つは自治委員会への参加と要求実現運動だ。自治委員会への参加を通して、一般学生の意見をまとめる。これをもち、五者懇談会などを通して大学側に学生の意見を伝える。もう1つは学友会運動への

挑戦をもっと自由に +Rな人とは

本学の在校生向けホームページで目にする「+Rな人」。頻りに更新されており、さまざまな学生が取り上げられている。「+Rな人」の企画意図や目的などを、広報課に聞いた。

「+Rな人」は学生のさまざまな活躍を可視化するべく2010年から始まった。学生の功績やその経緯を取り上げ、それを発信すること。取材の際に大事にしていることは、事実とそれに至るまでのプロセスを汲み取ること。フォーカスを当てているのは、活動の紆余曲折や努力、それを経て何を学んだのかという点だ。

広報課の北爪裕さんは、「挑戦をもっと自由に」と謳っている。その言葉通り、失敗を恐れずにさまざまなことに挑戦してほしい」と学生に向けてアドバイスを送る。

「+Rな人」が始まってから10年。今では新しい記事が学内に掲載されるたびに、学生や卒業生から大きな反響があるほどの人気企画となった。「今後もさまざまなことに挑戦し、輝く学生を取り上げていきたい」と北爪さんは意気込んでいる。(小板橋)



「+Rな人」の取材写真 本紙記者も取り上げられた

「+Rな人」の取材写真、本紙記者も取り上げられた。対象となるのは、自身の理念を持ちながら活動する本学の学生や院生、職員や学生からの推薦、SNSなどを参考にしながら選考される。活動のジャンルは問わず、さまざまな分野の学生が選ばれている。取材先が確定したら、広報課の職員がインタビューを行い、記事を執筆する。完成したコンテンツは大学ホームページに掲載され、同時にポスターが学内に掲示される。全ての作業が外部を頼ることなく、広報課のみで行われている。

みんなのアイドル 衣笠にゃんこ

衣笠キャンパスで暮らし猫の実態をご存知だろうか。猫の餌やりなどの活動を行っているボランティアサークル「立命館大学猫の会 ResCat」に話を聞いた。

ResCatによると、今年2月半ばから3月初めにかけて、長年構内で愛されてきた2匹の猫が相次いで他界した。原因は2匹とも腎不全。うち1匹はResCatの保護の下入院し、一度は回復したものの、退院後再び体調が悪化。動けなくなった夜を最後に行方不明になった。もう1匹はその4日後、衰弱した状態で見つかり、懸命の治療も虚しく動物病院で息を引き取った。

もらうのが目だ。対象となるのは、自身の理念を持ちながら活動する本学の学生や院生、職員や学生からの推薦、SNSなどを参考にしながら選考される。活動のジャンルは問わず、さまざまな分野の学生が選ばれている。取材先が確定したら、広報課の職員がインタビューを行い、記事を執筆する。完成したコンテンツは大学ホームページに掲載され、同時にポスターが学内に掲示される。全ての作業が外部を頼ることなく、広報課のみで行われている。



ナナちゃん。名前の由来は完璧なハチワレではないため



今季「絶対的エース」へと進化した坂本

今季の優勝の原動力となったのはエース坂本裕哉(文4)の投球だ。8試合に登板し、5勝1敗、防御率0・84でリーグ最多勝、最優秀投手、最優秀選手、ベストナインに輝いた。

エースとして臨んだ開幕戦は、7回まで8球6奪三振と完封ペースだったが、8回に連打で2失点し降板。課題が残る投球だった。

しかし、坂本が覚醒したのは第3節の京都大戦だった。初回に1点の援護をも

FEATURE

坂本 貫禄の投球

春季リーグMVPに選出

サッカー部 天皇杯 初戦突破

J1横浜マリノス撃破へ



2アシストでチームを勝利に導いた藤井

本学男子サッカー部は5月26日、天皇杯JFA全日本サッカー選手権に京都府代表として出場した。初戦はなでんフィールド(奈良市)にて奈良クラブ(JFL)と対戦し、2-1で次戦へ駒を進めた。

試合が動いたのは前半17分、背番号15番の藤井智也(法3)がドリブルで左サイドに切り込み上げたグラウンダーのクロスをし、7番の田中康介(産社3)が足元におさめ、左足で落ち着いてゴール左端へ流し込んだ。

その後、前半48分に藤井の正確なクロスに、11番の延裕太(産社3)がボレーで合わせ追加点とした。しかしその直

らった坂本は、9回を1人で投げ抜き、被安打5、9奪三振の好投で自身リーグ戦初の完封勝利を手にした。第5節の近畿大戦は圧巻の投球だった。近大との首位攻防戦。勝てば優勝が大きく近づく大一番でプロ注目の右腕、村西良太とのエース対決を2戦連続の完封で制した。5戦で26得点を挙げていた強敵、近大打線から7つの三振を奪った。メンタル面を課題として挙げている坂本はその課題を克服し、真のエースとなった。

今季を「今までは勢いで投げたが今季は一球一球意図を持って投げるべきだった。やんちゃな投球から勝てる投球へと成長した」と振り返った背番号21の表情は清々しかった。坂本の投球が神宮でも勝利をもたらす。

(石井)

持ち前のスピードとドリブルで、この日2アシストと活躍した藤井は「この春の練習が今日の結果を生んだ。後半、相手の猛攻に足が止まることもあったが、チームで励まし合って耐えた」と語った。次戦は横浜F・マリノス戦。「J1のチームだからと臆することなく堂々とプレーしたい」と藤井は意気込んだ。

新元号の制定を受け、本学文学部日本文学専攻で上代文学を専門とする藤原享和教授に意見を求めた。

藤原教授は初の日本の古典からの選定に加え、天皇退位による新名称の採用から、伝統の崩壊を危惧した。「元号は中国王朝の政治制度に倣って採用され、原則として中国の古典から選ば

スポーツ庁が設置を進めてきた、大学スポーツを統括する組織「一般社団法人大学スポーツ協会(UNIVAS)」が、3月1日に設立された。目的は、大学や学連、企業間の仲介による大学スポーツの振興だ。

同協会への加入により学生には、安心・安全の確保や金銭的不安の軽減、知識や先端技術の獲得などのメリットがある。また、大学や企業にとってはブランドイメージの向上や人材育成が期待できる。

設立時点で全国197の大学、31の学連が同協会に参加した。本学も賛同し、体育会所属の55団体が加入した。

大学スポーツ振興の一環として、同協会は現在、単位不足の学生の試合出場を停止させ、学業とスポーツの両立を促す規則を検討中だ。

UNIVAS 設立 未確定の部分多く

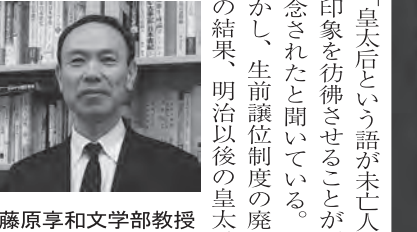
しかしこれに対し、本学の学生部長でスポーツ振興担当の川方裕則さんは「本学のような、以前からガイドラインを作成している団体もある。ルールを全加盟組織に画一的に押し付けることは、二重規範を生む可能性がある」と本学として反対の姿勢を示す。

この案は3年の試行の後、実際の施行を目指す。しかし、加盟校に課す義務など、そのほかの多くの制度は未確定。総会も現時点で一度開かれたのみだ。同協会の運営理念が明確でないとして、加盟を見送る大学もある。

本学が参加を決めた理由については川方さんは「組織の規模は大きいので、できることはたくさんあるのでは。いい組織だからではなく、いい組織にするために参加した」と説明した。

(堀内)

令和 識者にインタビュー



藤原享和文学部教授

「皇太后」と呼ぶのが習わしであるのに、新たに「上皇后」としたことについて。

また、上皇の後の名称は「皇太后」と呼ぶのが習わしであるのに、新たに「上皇后」としたことについて。

「皇太后」と呼ぶのが習わしであるのに、新たに「上皇后」としたことについて。また、上皇の後の名称は「皇太后」と呼ぶのが習わしであるのに、新たに「上皇后」としたことについて。

が未亡人であったため、元来そのような意味はない」と指摘した。

次に、新元号が万葉集巻五に載せられた「梅花の歌」の序文中の漢詩「初春の令月にして、気淑く風和く」とから採られたことについて。この序文は「帥老」の邸に幾人かの客が集まり、梅花を愛でた歌会の模様を語る。序文の作者を誰とするか、研究者の間で議論が絶えないが、有力とされるのが大伴旅人と山上憶良である。

この歌会に席を連ねた者の中で身分が高く、漢文に造詣が深い2人である。藤原教授は大伴旅人を作者とする見方としている。「この序文の中の『帥老』は当時大宰府の長官であった大伴旅人を指し、『老』は自身をへりくだった言い方であろう。仮に、山上憶良である場合『老』は大伴旅人への敬称となるが、彼ほどの学識であれば読み手を唸らせるような表現を思いいついたに違いない」と話した。

「区」に分けるため非効率になり、特別区は大坂市より財源が減るため、サービスの質も下がるとホームページ上で指摘する。

本学法学部の村上弘教授は「新版 日本政治ガイドブック」で「大阪市の専門的な政策力は貴重で、市を廃止すると大阪は衰退する」と述べる。村上教授は「市長選では松井氏が58%の得票で当選したが、選挙公報では大坂市廃止についての記載がないため、有権者が市の廃止を支持したとは言えない。いずれにせよ、選挙で勝った側の主張が正しいと判断せず、主張自体の妥当性を検討するのが賢明な市民だ」と語った。

大阪ダブル選 維新圧勝で再加速 「都構想」つてなに?

4月7日に行われた大阪府知事・市長の同時選挙、いわゆる「大阪ダブル選」は大阪維新の会の吉村洋文氏が知事に、松井一郎氏が市長に当選した。今回の選挙結果を受けて、2015年の住民投票で否決された大阪都構想が再び動き出す。

大阪都構想は、大阪維新の会を立ち上げた橋下徹氏が打ち出したもの。予算や権限を大阪府へ一元化し、二重行政の解消を目指す。また水道事業や消防活動などの広域行政は大阪府、私立幼稚園の設置認可や児童相談所の設置などの基礎自治行政は特別区が行う。住民には、大阪市よりも身近な特別区によってサービスの提供が実現できることも都構想のメリットである。

しかし、批判の声も多い。自民党大阪府議会議員団は大坂市の仕事を4つの「特別な市民だ」と語った。

区に分けるため非効率になり、特別区は大坂市より財源が減るため、サービスの質も下がるとホームページ上で指摘する。

本学法学部の村上弘教授は「新版 日本政治ガイドブック」で「大阪市の専門的な政策力は貴重で、市を廃止すると大阪は衰退する」と述べる。村上教授は「市長選では松井氏が58%の得票で当選したが、選挙公報では大坂市廃止についての記載がないため、有権者が市の廃止を支持したとは言えない。いずれにせよ、選挙で勝った側の主張が正しいと判断せず、主張自体の妥当性を検討するのが賢明な市民だ」と語った。

さわやかな笑顔が合否の決め手!!

歯の変色や歯茎の黒ずみが気になる方

歯の色を白く、歯茎の黒ずみを気にならずに、歯を治療するだけでもグッと印象が変わります!

面接では、自信に満ちた自然な笑顔は、面接官に好印象を与えることで、魅惑的な笑顔の大きなポイントは白い歯と美しい歯並びにあります。高度な技術を取り入れたアリスデンタルクリニックの審美治療で、理想の歯と眩しい笑顔を手に入れましょう。

歯の変色や歯茎の黒ずみが気になる方

歯の色を白く、歯茎の黒ずみを気にならずに、歯を治療するだけでもグッと印象が変わります!

面接では、自信に満ちた自然な笑顔は、面接官に好印象を与えることで、魅惑的な笑顔の大きなポイントは白い歯と美しい歯並びにあります。高度な技術を取り入れたアリスデンタルクリニックの審美治療で、理想の歯と眩しい笑顔を手に入れましょう。

歯の変色や歯茎の黒ずみが気になる方

歯の色を白く、歯茎の黒ずみを気にならずに、歯を治療するだけでもグッと印象が変わります!

面接では、自信に満ちた自然な笑顔は、面接官に好印象を与えることで、魅惑的な笑顔の大きなポイントは白い歯と美しい歯並びにあります。高度な技術を取り入れたアリスデンタルクリニックの審美治療で、理想の歯と眩しい笑顔を手に入れましょう。

審美歯科

希望に応じて様々な治療法をご提案!

歯列矯正

カウンセリング無料! 即日見積OK!

大阪大学歯学部医師チームによる最先端の治療

歯並び すぎっ歯 クリーニング

白梅町 アリス歯科 (くすの木1F)

北野白梅町 徒歩1分

アリスデンタルクリニック グループ 京都(四条大宮・白梅町)・東京(茗荷谷)

白梅町 アリス歯科医院

まずはお気軽にお電話ください!!

075-462-8211

無料カウンセリング 受付中!!

http://www.alicedental.jp

SDGs をスポーツで体験 「エキスポーツ」開催



2人の子とも参加した山田千鶴さんは「健康という点でSDGsの取り組みを身近に感じた」と話す

スポーツを通じて、持続可能な開発の取り組みを体験する「エキスポーツ2019」が5月26日に本学びわこ・くさつキャンパス(BKC)で開催された。

会場となったスポーツ健康コンズでは、車いすバスケットボール体験や大縄大会などユニークな企画が催され、3000人を超える来場者がスポーツに触れ合った。エキスポーツの責任者である岸本俊輝さん(理工)

3)は「予想よりも多くの人が参加してくれた。学生だけでなく地域の人も巻き込んだ取り組みになった」と喜ぶ。

「健康」と顔をほころばせた。家族連れの様も目立ち、



車いすバスケットチーム「京都アップス」のメンバーがレクチャーした

「Sustainable Week」が開催される予定。岸本さんは「今回の反省を活かしていきたい」と意気込む。

「すべての人に健康と福祉を」「貧困をなくそう」など17の目標達成に向けて国連が2015年に掲げたSDGs(持続可能な開発目標)。達成期限の2030年に向けて本学内でも機運が高まっている。本紙では、Sustainable Week 実行委員会の協力を得て、SDGsの取り組みに関する特集を組んでいる。

「今年10月にはBKCで『小さな地球』に見立て、社会の持続可能性を考える」と意気込む。

「今年10月にはBKCで『小さな地球』に見立て、社会の持続可能性を考える」と意気込む。

今年3月29日に、再建された尼崎城(尼崎市)が一般公開となった。

尼崎城は1617年に大坂の西の守りのために築城され、1873年に廃城されるまで尼崎の中心として街の発展を支えた。2015年に旧家電量販店の創業50周年を記念して、5月に大規模な再建工事が完了し、5月17日に一般公開された。

尼崎城は1617年に大坂の西の守りのために築城され、1873年に廃城されるまで尼崎の中心として街の発展を支えた。2015年に旧家電量販店の創業50周年を記念して、5月に大規模な再建工事が完了し、5月17日に一般公開された。

「今年10月にはBKCで『小さな地球』に見立て、社会の持続可能性を考える」と意気込む。



完成した天守閣

烏丸線の新デザイン決定

より近代的な車両に

3月29日、京都市交通局が市営地下鉄烏丸線に導入する新型車両のデザインを発表した。同局は市民や利用者以外に、内装のデザイン各3案を示し、WEBサイトやFAX、駅に設置した専用投票箱などの方法で投票を実施した。最も多くの票を集めた案を最終デザインとして決定。同局は今後、新型車両の製造を進め、2021年度末に1編成目の導入を目指す。



最終デザイン案(京都市交通局提供)

より近未来的なイメージのデザインで、シルバーと緑を基調とする現在の配色を引き継ぐ。内装は「華やかでみやびなカラーデザイン」が採用された。座席のカラーには「茜色」「若草色」を、床には「鈍色」を用い、和の色で内装を彩る。

先頭車両と最後尾車両には「思いやりエリア」と称した多目的エリアを設ける。車いすやベビーカーを利用する乗客に加え、大きな荷物を持つ旅行者など、全ての乗客が快適に乗り込める。

ミス立命館 2018 おうやくかん 王奕涵さん 素顔に迫る

ミスキャンパス立命館2018でグランプリに輝き、全国のミスキャンパスの中から日本一を決めるミスオヴミス2019ではファイナリストにも選ばれた王奕涵(おうやくかん)さん(心理3)。約1年間の活動を振り返りながら、彼女の素顔に迫る。

「ミスキャンパス立命館に挑戦したきっかけは何ですか。」

「学校で実行委員さんから誘われて、学生生活にもっと鮮やかな色をつけたいと思ったので応募しました。自分に自信をつけられたからというのもあります。誘ってくれた実行委員さんがすごく可愛い子だったので(笑)。」

「ミスキャンパスの活動をやるうえで、心がけていたことは何ですか。」

「ミスキャンパスへの参加は、成功することよりは成長することが大事だと思います。そのことをいつも自分に言い聞かせて頑張っていました。」

「活動中、やりがいを感じたり嬉しかったりしたことは何ですか。」

「元々、自分のために結果を出すとかは考えていなくて。応援してくれていた人たちが喜んでくれて、SNS上でメッ



profile 王奕涵

1997年10月4日生まれ。中国蘇州市出身、総合心理学部3回生。心理学を学ぶため高校生の時に来日。

「今後は、芸能活動は続けていきますか。趣味の一部として、人生一度きりだから体験してみたいものもありかなという感じです。芸能活動のために何か他のことを犠牲にするとかは全然思っていないです。」

「最後に読者の方へコメントをお願いします!」

「皆さんそろそろ暑くなりますので、そうめん食べすぎないようにしてください。一旦三食アイスもダメですよ。」

「王さんは、中国の番組制作会社「ワノユメ」が制作するドキュメンタリー番組「私がここに住む理由」で主演に抜擢された。同番組の監督は元NHKディレクターの竹内亮氏で、放送開始から3年で再生回数5億回を突破という記録を持つ。日本国内では公式YouTubeチャンネルで視聴が可能。ミスオヴミスの裏側や、王さんの日常生活を見ることが出来る。(堀ノ内)

たくさんの人に伝えたい感動や興奮。共有したい情報や想い。それらを表現できるのはたった一枚の紙の上。限られた範囲で何ができるか。記事の構成、写真のアンクル、紙面のデザイン、見出しの付け方。伝えたいから、全てにこだわる。こだわるから、良いものが生まれる。私たちにしかできないことが、ここにある。



立命館大学新聞社 RITSUMEIKAN UNIV PRESS



おかげさまで、創刊80周年

新人記者、募集中。

www.ritsumeikanunivpress.com

立命館大学新聞社 検索



衣笠本部 | 学生会館 3F BOX316
BKC支部 | セントラルアーク4Fアウトオフィス
OIC支部 | A棟北ウィング3F Student Lounge内